



60th

ANNIVERSARY

CSR REPORT 2020

加藤商事株式会社



<http://katosyoji.tokyo>

KATO

加藤商事株式会社



未来の地球に 持続可能な 環境を創る企業

KATO
加藤商事株式会社

会社概要

会社名	加藤商事株式会社
代表者	代表取締役 加藤 宣行
事業内容	環境コンサルティング／容器包装プラスチック・ペットボトルリサイクル業務／ 一般廃棄物収集運搬業務／産業廃棄物収集運搬業務／ 総合建物管理業務／一般土木、上下水道工事
資本金	4,050万円
設立	1960年4月
従業員	162名(2020年6月現在)
事業所	本社：東京都東村山市恩多町1丁目12番地3 赤坂営業所／東大和営業所／町田営業所／八王子営業所
主な許認可	産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県/福島県/山梨県/群馬県(順不同)) 特別管理産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県/茨城県/栃木県/群馬県(順不同)) 産業廃棄物処分業(東京都(中間処理)) 産廃エキスパート(東京都(収集運搬)) 東京都一般建設業(般-25)第101214号 (土木/管/塗装/とび・土木/ほ装/水道施工/電気/解体) ISO14001
情報公開	さんぱい情報ネット(http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/)

加藤商事は「次世代に生活する快適さと持続性の調和した環境を残すことが、今存在する当社の責務である」と考え、経営理念を「未来の地球に持続可能な環境を創る企業」とし、社員の思いを集結し全力で事業に取り組んでまいります。

目次

01 …会社概要	07 …加藤商事のCSR	13 …安全衛生	19 …トピックス
03 …CSRトップメッセージ	09 …人財	15 …地域貢献	20 …エネルギーデータ
05 …創立60周年記念祝賀会	11 …顧客満足	17 …環境	21 …会社データ

編集方針

本報告書は、加藤商事におけるCSR(Corporate Social responsibility)の基本的な考え方と取り組み・実績についての情報を開示し、ステークホルダーとの関係を大切にしながら、経営の改善・向上を目的とするものです。重点課題を「人財」「CS(顧客満足)」「安全衛生」「地域貢献」「環境」の5つとし、それぞれの活動を紹介していきます。

対象期間	2019年度(2019年4月～2020年3月)
対象範囲	加藤商事株式会社 本社・営業所全体
参考としたガイドラインなど	・GRI【サステナビリティレポートガイドライン】第4版 ・環境省「環境報告ガイドライン」(2018年版) ・ISO26000「社会的責任に関する手引き」
発行日	2020年9月

沿革

昭和

21

埼玉県大宮市に於いて、加藤長次郎が清掃業を自営

29

資本金二百万円也を以って加藤商事有限会社を設立

30

東村山市と所沢市に営業所を設置

35

加藤商事株式会社を資本金五百万円也を以って設立

平成

14

ISO14001を取得

15

エコ工場フェニックス第一工場完成

東京都エコトライ協定を締結

東村山市より中間処理業の許可第1号を取得、本社を市内恩多町へ移転

17

東京都産業廃棄物「中間処理業」許可取得

18

清瀬市・東久留米市の「容器包装プラスチック」の受入を開始

19

東村山市の「容器包装プラスチック」の受入を開始

20

エコ工場フェニックス第二工場完成

21

町田市に営業所を設置、町田市「可燃物収集運搬委託」開始
西東京市の「容器包装プラスチック」の受入を開始

22

環境イノベーション事業部を開設

24

町田市「家庭系持ち込みごみ選別」委託を開始

経済産業省「インフラ・システム輸出促進調査等委託費(中国大連市における調査事業)」受託

25

清瀬市「ペットボトル収集」の委託を開始

26

東村山市「ペットボトル」の受入を開始

28

町田市「容器包装プラスチック収集」の委託を開始

令和

1



創業60周年を迎えて

当社は2019年4月をもちまして創業60周年を迎えることができました。1960年に東村山市廻田町で当社が産声を上げた当時、日本は第二次世界大戦を終え、高度経済成長期の真っ只中でした。急激な経済成長を遂げた一方で、環境汚染や公害が問題視されていました。当社はし尿の汲み取りから事業を開始しましたが、現在では家庭ごみの収集運搬をはじめとした廃棄物事業、ビル総合メンテナンス事業、コンサルティング事業など、時代の変化に対応する様々な事業を展開しています。

中でもここ10年間で、私たち廃棄物事業者の立場・求められる役割が大きく変化しています。現在、廃棄物事業者は社会活動に必要不可欠なエッセンシャルワーカーに指定されており、いかなる時も安定した事業継続が求められています。また、廃棄物の適正処理を推進する社会的な責任を強く感じています。

今後もステークホルダーの皆様とともに、「未来の地球に持続可能な環境を創る企業」として貢献できるよう、歩み続けてまいります。

多様化する災害に対して

近年では、気温上昇や台風の大規模化、局地的豪雨など気候変動が顕在化し、自然災害が多発しています。また、2019年度末からは新型コロナウイルスの感染者が国内で確認され、現在でも感染拡大が続いています。

災害リスクが拡大する現代社会でも安定的に事業を継続するため、当社ではBCPを策定しています。具体的には、自治体の発表するハザードマップをもとに収集車を移動させること、従業員の安全を確認するためのアプリ導入などを定めています。また、新型コロナウイルスの感染防止対策として、作業時のマスク着用やアルコール消毒の徹底、日々の検温などを実施しています。

廃棄物事業者である当社は廃棄物を通じた感染リスクが高いとされています。激甚化する自然災害への対策も同様ですが、現在の取組みに満足することなく、リスクと向き合いながら事業を行うことが重要です。これからも当社の取組みをアップデートし、社員の安全を確保しながら事業に臨むことができるよう、様々な取組みを行います。

当社のCSR活動

当社のCSR活動では、「人材」「CS(顧客満足)」「安全衛生」「地域貢献」「環境」を重点課題として設定し、様々な活動を行っています。しかし、これまでの当社のCSR活動は社内人財の多様化や地域に根差した活動が継続されている一方、新たな活動が積極的に展開されているとは言い難い状況だと捉えています。

こういった状況を打破するため、社員を主体としたCSR推進委員会を立ち上げました。このチームではCSR活動をより社内に浸透させること、取組みを推進することを目的とし、当社のCSR活動推進に向けた活動を行っています。現在、新たな活動の実現に向けて様々な検討を行っています。一つにはSNSやメディアなどを活用した情報発信が考えられます。現代はSNSなどを通して、誰もが情報を発信できる時代です。当社としてもSNSやその他メディアを活用することで、ステークホルダーの皆様幅広く当社のことを知っていただけるチャンスであると感じています。

当社の経営理念にも掲げる「未来の地球に持続可能な環境」を創るためには、当社だけではなく、ステークホルダーの皆様との連携が必要不可欠となります。そのためにも、当社の情報や廃棄物問題をはじめとする環境問題を広く発信すること、さらには当社のCSR活動をより一層推進することで、当社のCSR活動の価値を高めていくことが重要だと考えています。

CO₂排出実質ゼロを目指して

2015年に制定されたSDGs(持続可能な開発目標)では、17の目標と169のターゲットが設定され、2030年までの達成が求められています。幅広い目標が設定される中の一つに、目標13「気候変動に具体的な対策を」があります。

深刻化、多様化する環境問題の中でも気候変動問題は特に深刻であり、私たちの生活に直接的な影響をもたらします。この気候変動問題の一因とされているのが、温室効果ガスの多量排出です。現在、私たちの生活は多くのエネルギーを使用することで成り立っていますが、電気やガスなどを使用する際に発生する温室効果ガスは地球温暖化を促進してしまいます。温室効果ガス排出量をいきなりゼロにすることは極めて困難ですが、エアコンや照明、自動車など我々の生活の利便性を上げるツールに対して、省エネ効率の高い製品を導入する、こまめな電源オフなどの運用改善を行うなど、小さな積み重ねによって環境負荷を軽減することが可能です。

当社としても、SDGs達成に貢献するため、小さな積み重ねを行うとともに、収集車の電気自動車への移行や、バイオエネルギーの活用などを推進し、2050年までに“CO₂排出実質ゼロ”を目指していきたいと考えています。また、当社だけがCO₂排出ゼロを目指すのではなく、ステークホルダーの皆様と連携し、地域でのCO₂排出量を削減していくことが重要だと考えています。そのためにも、子供たちへの環境教育の実施、より省エネ効率の高い製品のご案内、さらには高齢化や労働人口不足に対応するためのAIやIoTなどのソフト面への投資などを積極的に行っていきます。当社の主要な事業である廃棄物処理に限らず、様々な取組みを行うことで、より良い地球環境を持続することを目指してまいります。



創立60周年記念祝賀会

60年の積み重ねと新たな挑戦



祝賀会の概要

加藤商事は2019年をもって、創立60周年と記念すべき節目を迎えることができました。し尿の汲取り事業から始まった当社が、本日に至るまでの長い歴史を社員一同で振り返り、さらなる発展と社会貢献を目指し心を1つにするため、祝賀会を開催しました。

普段は顔を合わせる機会の少ない社員全員が参加する祝賀会は初めての試みでしたが、有志者で発足した実行委員会が一丸となり、社員の心に残る1日にすることができました。

60周年に対する想い

当社の代表である加藤宣行は社員に対して、このような想いを伝えました。

「わが社におけるこれまでの60年間は、激変してきた時代の中で様々な苦難を乗り越え今日まで駆け抜けて来ました。それは、人間が生活する中で必ず必要とされる仕事であり、恐らく、これからも変わらないと思います。私たち、加藤商事は、誰かがやらなければならない仕事を誰よりも一生懸命行っています!そして、地域、社会から無くてはならない存在へ成長し、誰からも愛される会社になります!その為には、人のチカラが必要です。この先、時代は機械化が加速することでしょう。しかし、どんなに、機械化が進化しても人が機械を使うのであり、決して機械に人が操られてはならないと思います。私は私と関わる全ての人が幸せになるように今後も努力して行きます!どうぞ皆さまも、自分を愛し、隣人を愛し、会社を愛し、己の人生をハッピーにしていって下さい。感謝!!」

社員一同、想いを胸に誰からも愛される会社を目指してまいります。

一日の流れ

開会

歴史を
振り返る

挨拶

表彰

企画

感謝状

閉会

60年間の歴史を映像とともに

今日にいたるまでの歴史を振り返りました。懐かしむ人や思いを馳せる人、先代たちが築き上げた軌跡を見つめなおした社員など様々でした。



代表取締役・会長・役員の挨拶

加藤会長は、これまでの出来事や、これから加藤商事が進む道を熱く涙ながらに語る姿が印象的で、熱い想いがこみ上げました。



勤続年表彰

長く会社を支えてきた社員へ、社長から感謝とともに、表彰状を授与いただきました。最長者は勤続30年と加藤商事を支え続けています。



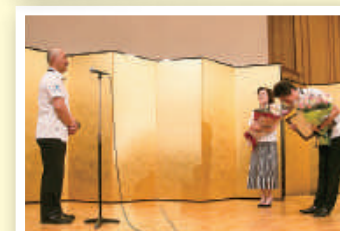
レクリエーション企画

多くの社員が集まる式典だからこそ盛り上げたい! という実行委員の思いにより、景品付きのビンゴやじゃんけん大会、ロシアンルーレットゲームを行いました。



社員からの感謝状

この場で感謝を伝えたかったのは社長たちだけではなく、社員も同様です。代表取締役、会長、役員へ日頃の感謝を伝えました。



加藤商事のCSR ～創業当初から今日まで、変わらない想い～



創業60周年を迎えた当社は、80年、100年、その先もステークホルダーの皆様への社会的責任を果たし、必要とされる企業であり続けます。

企業理念にこめられた想い

当社の事業を通じ、ステークホルダーの皆様の期待に応え、“持続可能な社会を実現する”こと、つまり次世代の我々子孫に、生活する快適さと持続性の調和した環境を残すことが、今存在する当社の責任であると考えています。

■ 企業理念

あす 未来の地球に持続可能な環境を創る企業

● WHO(誰が、誰を)

我々、加藤商事は、お客様(自治体・企業・生活者すべて)のことを考えています。

● WHEN(いつ)

常に、考えています。

● WHAT(何を)

どうしたらもっとお客様が快適で安心・安全に経営・生活出来るかを考えています。

● HOW(どのようにして)

お客様の立場となって、まじめ・勉強好き・プラス発想の精神で考えます。

お客様の求める環境とは、快適・安心・安全です。それは、単なる一企業のためや、一個人のためだけの欲求を満たすものではなく、そこに取り巻く地域・国・地球へとつながっていき、次世代の子供たちに持続可能な環境を創っておくことだと考えます。

また、それを実現することは、当社とステークホルダーの皆様共通の喜びであり、双方の発展に欠かせない存在意義だと考えています。

社会(ステークホルダー)とのつながり

当社は事業活動を通じ、社会の役に立ちたいと考えています。ここでいう社会とは、当社とつながりのある人々や組織のことで、ステークホルダーと呼んでいます。

ステークホルダーには、より品質の高いサービスを提供するための「協力会社」、サービスを選んでくださる「お客様」、営業拠点のある「地域社会」、地域環境を共に考える「自治体」、想いを結集し行動する「業界団体」、また事業活動の要となる「社員(社員の家族)」がいます。また、人や組織ではありませんが、「環境」についても深いつながりがあるため、CO₂や廃棄物抑制などの環境配慮についても果たすべき責任のひとつだと受け止めています。



重要な5つの基本テーマ

当社は社会的責任を果たすために、重要度の高い5つの基本テーマを掲げています。
各テーマに沿った具体的な活動を行い、質の高いCSRを目指します。

1

人財



環境問題に立ち向かう知識・技術を有する人財の育成

- 女性活躍推進・障害者雇用などのダイバーシティ推進
 - 社内研修等の開催による専門知識の習得
- など

2

顧客満足



お客様視点に立った質の高いサービスの提供

- 顧客ヒアリング・アンケート実施によるサービスの品質向上
- など

3

安全衛生



社員の安全意識向上による事故・災害の撲滅

- 事故内容の検証、再発防止策の徹底
 - 安全スローガンの募集や共有による安全意識の向上
- など

4

地域貢献



地域に根差したCSR活動

- 子供・高齢者の見守り運動実施
 - 地域清掃等のボランティア活動
 - 環境教育や工場見学による啓発活動
- など

5

環境



あす 未来の地球に持続可能な環境を創る企業

- ISO14001のPDCAサイクルを活用した継続的改善
 - 事業活動に伴い排出されるCO₂の監視・測定
- など

CSR推進委員会の発足

社内のCSRの浸透、円滑な運営のためにCSR推進委員会が発足しました。

当社のCSR活動が社会の常識や期待に応えているものかどうかを様々な視点で検証できるよう、推進体制を強化してまいります。

CSR推進委員会 菊池委員長のインタビュー

環境イノベーション事業部
コンサルティング課

菊池 祥太郎



Q 今期よりCSR推進委員会が発足しました。意気込みと、来期に向けての課題など教えてください。

A 複雑化・多様化する社会のニーズに応えるため、CSRの一層の強化が必要との考えから、CSR推進委員会が発足しました。来期は活動方針の策定など、基本的な部分を整備し、社内へのCSRの浸透をより図るとともに、社内委員についても課の偏重がないよう、バランスよく取り組みを推進していけるようにしていきたいと考えています。

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく行動計画の策定

当社では女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(通称：女性活躍推進法)に基づき、女性の活躍に必要な社内環境の整備を目的とした、行動計画を2019年に策定しました。

自社の状況分析、課題分析を行い、それを解決するための目標および取組内容を定め、2024年3月までの5年間で第1次計画としています。

当社課題

- ① 女性の採用数が少ない
- ② 女性の管理職がない

目標1

採用者の女性比率を
25%以上を
目指す

目標2

女性社員の
成長機会の拡大

目標3

女性管理職
候補生の育成

目標4

男女共に働きやすい
職場風土整備を
行う

情報公表(2020年3月31日時点)

■ 正社員における男女比率

男性**92%** 女性**8%**

■ 新規採用者男女比率 2019年度

男性**80%** 女性**20%**

■ 正社員における平均勤続年数

男性**7.6年** 女性**5.3年**

■ 管理職に占める女性労働者割合

男性**100%**

■ 係長職に占める女性労働者の割合

男性**80%** 女性**20%**

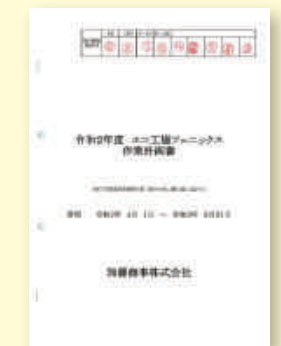
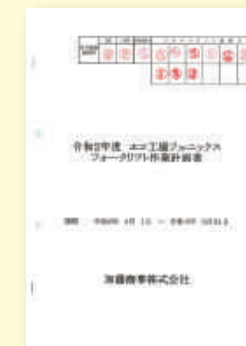
人財の教育ならびに事故防止措置

当社では、現場の最前線に立つ社員が安全な環境で作業に取り組むことができるよう、様々な取組を行っています。

今後も事故防止に向けた取組を行い、社員一人ひとりのスキルアップを促していきます。

	収集運搬課
取組	運転研修(10日間)
	収集作業指示書
	安全ミーティング
	優良従業員への表彰制度
	抜き打ちパトロール
	デジタルタコグラフの設置
	ドライブレコーダーの設置

	資源再生課
取組	工場管理指示書
	フォークリフト作業指示書
	運転研修
	選別マニュアルの管理・更新
	危険個所の表示
	カラーコーンの設置



環境問題に立ち向かう知識・技術を有する人財の育成

当社では2019年より外部から専門家を招き、気候変動や廃プラスチック問題等に関する国際情勢について様々な角度からご講義いただきました。講義のほかにはグループワークも行い、環境問題への関心や知識をより一層深めました。



講義に参加した 新入社員の声

環境イノベーション事業部
コンサルティング課

玉木 秀司



Q どのようなことを学びましたか？

A 廃プラスチックや気候変動に対する各国の意見など、様々なことを学びました。中でも各回のグループワークでは異なる意見が多く聞かれ、自分の考え方に広がりがあったように感じています。

Q 今後の業務への意気込みをお願いします。

A 自分の考えを持つことの大切さを改めて学びました。お客様と接する上でも、ベースとなる知識を十分に持ったうえで、自分の意見を持ち、お客様に最適なご提案ができるよう努力していきます。

エコ工場フェニックスの 樋代工場長にインタビュー

環境保全事業部
資源再生課

樋代 博英



Q 従業員の育成に関してどのような取組を行っていますか？

A 全員がどの業務についても対応できる体制を整えています。また活発にスキルアップを行うことでコミュニケーションのきっかけとなり、工場全体のチームワークが高まりました。

Q 事故防止措置に関してどのような取組を行っていますか？

A リチウム電池や充電器などの発火事故が最近特に問題視されています。発火事故を未然に防ぐため、対象物を専門に選別する社員を配置しています。また、万が一火災事故が起きた際の対策として消火器の使用訓練を行っています。



▲消火器使用訓練の様子



▲消毒の様子

Q 新型コロナウイルスに関する対策はありますか？

A 感染者が出てしまうと工場が稼働できなくなってしまうため、従業員は緊張感を持って従事しています。消毒の徹底はもちろん、工場内の常時換気や機械の消毒も週1回必ず行っています。従業員には大変な思いをさせてしまいますが、コロナ対策は今後も徹底してまいります。

事例

補助金は1つじゃない(A 社の場合)

当社ではお客様のニーズに合わせた商材選定・提案を心掛けており、その中には助成金を活用した設備更新・PCB含有有無調査、PCB含有機器の運搬や処分があります。

A社では、自治体よりPCBの処分について通達が届き、どう行えばよいか悩んでおり、当社にお問合せをいただきました。ご相談内容から

- ・ PCB含有機器の調査を行うこと
 - ・ 設置されている水銀灯照明器具をLED照明器具に交換すること
- 上記に2点に対応した補助金を活用することをご提案いたしました。

PCBの問題解決とLEDの交換について、補助金を活用することでトータルコストを抑えることができました。



BEFORE



AFTER

補助金活用効果

	補助金使用前		補助金使用后
PCB調査	約80万円	▶	約43万円 約47%カット
LED交換	約75万円		約52万円 約31%カット

● 工事後にA社のご担当者様へインタビューを行いました

自治体からPCB処分の案内が届きましたが、PCBやLED交換の補助金について右も左もわかりませんでした。加藤商事は工事から補助金申請資料の作成、PCB処理まですべて一貫して行えるので安心して任せることができました。LEDに交換したことで作業場も明るくなり、PCBの問題もきれいに解決でき安心しました。PCBは負の遺産でもあるので、これで次の世代へ安心して継承できます。

従業員を守りたい!(B 社の場合)

B社では、重い荷物の積み下ろし作業を繰り返し行うことで、従業員の体に大きな負担がかかっていました。そこで当社では、腰への負担を軽減するマッスルスーツをご提案しました。

長時間作業をしても、以前とは異なり腰や体に対する負担が軽減されるようになりました。



着用時の様子

● 導入後にB社のご担当者様へインタビューを行いました

重い荷物を持ち上げなければならない作業が体の負担となっていました。加藤商事から積極的なアプローチと適度な価格でのご提案があり導入を決めました。導入してからは楽に持ち上げることができるので体の負担がほとんどなくなり、腰をかばうような持ち上げ方ではなく、どんな姿勢でも簡単に持てるようになりました。

他にも…(加藤商事にお願いしたらこんなにいいことが！)

● PCBの選別と保管場所の移動を行ったC社では

処分期限に間に合うよう必要な書類の作成から調査実施と一貫して行い、結果、約550万円の処理費削減となりました。こちら側の要求に対して、迅速かつ誠実な対応をしてくれたので、助かりました。

● 排水管清掃とグリストラップ清掃を行ったD社では

排水管の不具合について親身になってアドバイスをしてくださいました。価格なども作業に応じて柔軟に対応していただいております。また緊急時にも迅速な対応をいただけたので、施設の利用者の方が支障なく使用することができており助かっています。

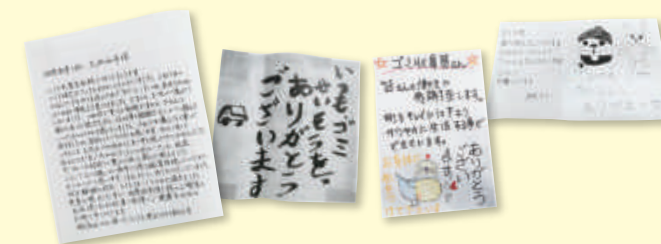
● マッスルスーツを購入したE社では

重たい商品を人力で移動させなければならず、腰を痛める従業員もいる中で改善できればと思いマッスルスーツを使用してみました。使い始めは慣れておらず作業に時間もかかりましたが、現在ではスムーズに使用でき腰の負担も軽くなりました。

地域の声

当社では、一般家庭ごみの収集という地域の皆様と距離の近い業務をしています。2019年4月から2020年3月までにおよそ60件ものサンキューレターをいただきました。従業員は、いただいた手紙を胸に刻んで明日への活力としています。

▼近隣住民の皆様から



サンキューレターの実際の言葉 (お手紙から抜粋)

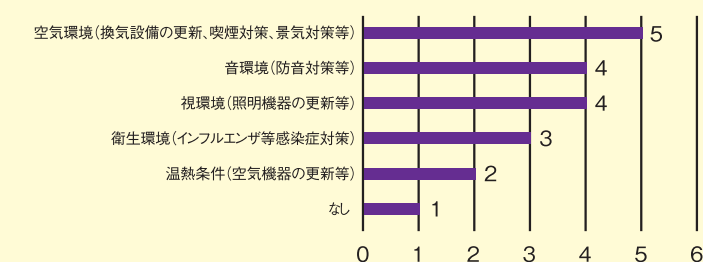
ゴミ収集員さん、町をキレイにしてくださいさやかに生活することができています。ありがとうございます。お身体に気を付けてください!

ていねいな対応に驚きと共に関心いたしました。こういうお心遣いが長年に渡り経営持続につながっているのだと思います。

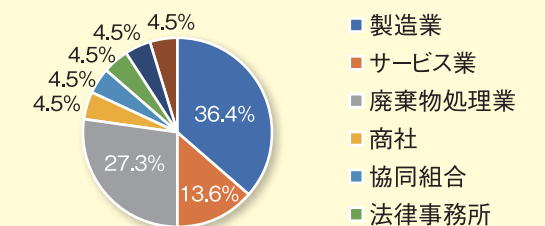
顧客満足を数値化

当社ではお客様のニーズに合わせたご提案をするため、アンケート調査を実施しております。今回、職場環境改善についてアンケートを行い、今後職場で取組みたいことについて、以下のような回答をいただきました。お客様の回答を丁寧に分析し、常に最善なご提案ができるように注力してまいります。

【作業環境の管理】今後職場で取組みたいことはありますか？



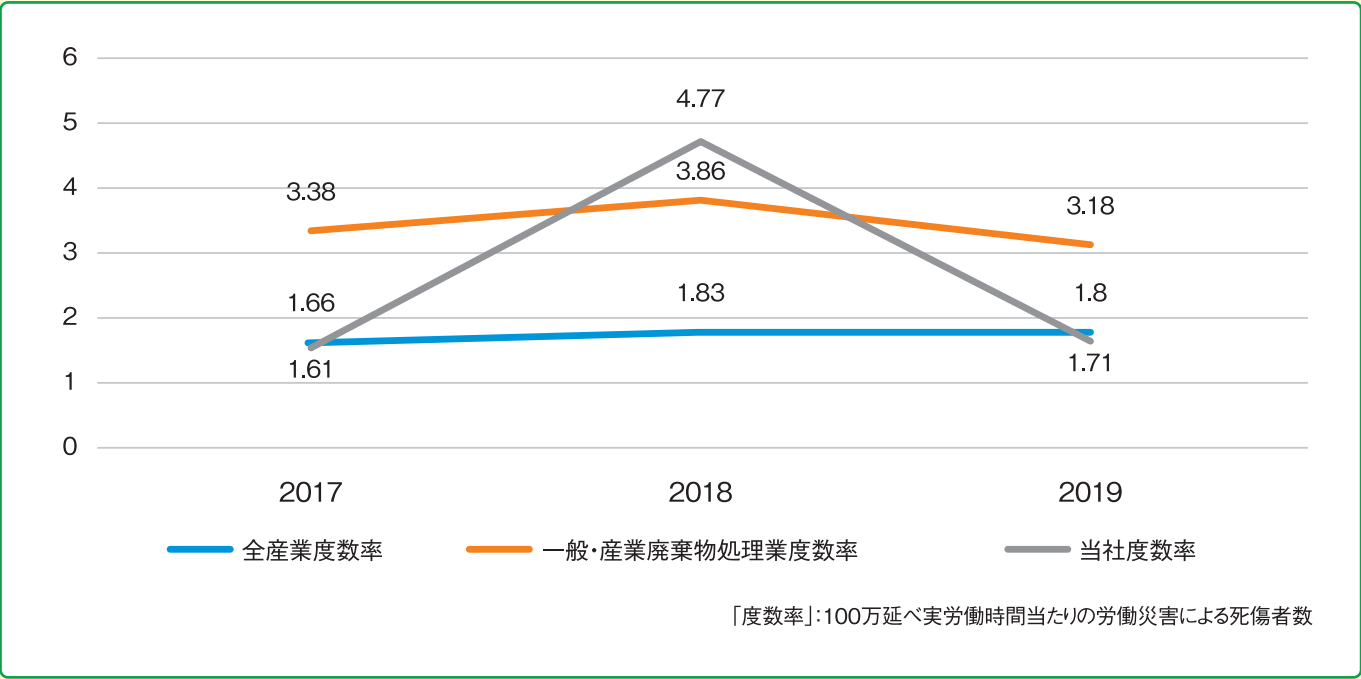
■ 本アンケート回答業種



安全成績

当社では、厚生労働省が行う労働災害動向調査結果を基に、当社の安全成績を算出しています。

年度	1人当たり年間労働時間(時間)	平均労働者数(人)	総労働時間(時間)	死傷者数(人)	類別死傷災害発生状況	
2017	2,076	155	322,568	2	はさまれ巻き込まれ	2件
2018	2,021	165	333,979	7	切れ擦れ	7件
2019	2,055	166	342,385	2	転倒躓き	2件



2019年度は死者数0件、負傷者数2件となりました。2018年度の死者数0件、負傷者数7件と近年では比較的多い年となりました。しかし、事故防止対策委員会による当社全体での安全作業の強化と、部門ごとの安全ミーティングを定期開催することで、死傷災害抑制に取り組みました。一歩ずつではありますが、これからも安全第一を意識して事故の撲滅を目指してまいります。

無事故表彰者数

当社では1年間無事故(交通事故/車両故障/顧客トラブル/労働災害)を達成した収集運搬課社員に毎年表彰、5年間・10年間無事故を達成した収集運搬課社員には『特別優良運転者』として表彰と褒賞を行っています。2019年度は収集運搬課全社員のうち102名が表彰され、近年で最も多い表彰者数となりました。

年度	本社		秋津		東大和		町田		合計		割合(%)
	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	
2017	17	19	26	34	21	21	15	18	79	92	86%
2018	19	19	35	38	20	22	21	22	95	101	94%
2019	22	24	37	42	20	22	23	25	102	113	90%

2020年度社内安全スローガン

当社では毎年社員から「社内安全スローガン」を募集しています。
採用されたスローガンは各事業所内の目立つ場所に掲載され、日々社員の安全意識向上に役立っております。
今年度は東大和営業所の収集運搬課所屬、大浜和平さんのスローガンが採用されたためインタビューを行いました。

「家族と仲間の笑顔を想い みんなで創ろう快適職場」

■スローガンに込められた思い

「会社はつらい場所では決してありません。会社は本来あなたにとって楽しい場所ではないといけないのです。会社が楽しくなれば、あなたの生活も快適になります。そして、やがてあなたの周りの人も幸せになり、最後にあなたの人生が充実し最高の達成感を味わうことになるでしょう!」
この言葉は毎年恒例の社長からの訓示であり、私もその内容に共感しました。生活の基盤は家族であり、生活の糧を得ているのは会社です。会社を楽しむこと、社員の生活を快適にすることは、思いやり・笑顔・コミュニケーションを大事にすることで自ずと満足する結果が伴うと思います。
私のモットーである「明るく楽しく元気よく」に従業員皆で目指すことができればとの思いで考案しました。

■日頃業務中に心掛けていることや注意していること

ズバリ家に無事に帰宅し「うまいビールを飲む」です!
そのための逆算で、社内でのあいさつや清潔な身だしなみは最低限のことと捉え、外に出ればごみ出しの困りごとがある市民の方への説明や動物被害で荒らされた箇所の掃き掃除も当然に行っています。
一例を挙げれば、以前ある箇所でごみ出し用に使用していた固定用金具を収集する際に壊してしまったことがありました。そのことをメモ書きで投函し、替わりのものを置いていったところ、その対応に感激していただき感謝の手紙を頂戴したことがありました。やってしまったことを隠さず素直に速やかに対応したことが感謝につながると改めて認識したことがありました。自分がされて嫌なことは他人も嫌ですし、その逆もまた然りであると考えています。

■どのような職場環境を今後目指していきますか

いわゆる「きつい汚い」職種、職場のイメージを払拭したいと思っています。
日々の収集は地域に密着している業務ですので、子供たちからの応援を受け、いずれはやりたい職種、職場と言われるような環境にしていきたいです。

■今後の抱負

地域でなくてはならない存在になりたいと思っています。最近では残念ながら毎年のように日本各地で災害が発生しています。いつ何時、我々も被害を受けるかわからない状況の中、まずは我々が元気でいなければなりません。日ごろの備えを確実に、従業員同士の意識を高め、必要とされ続けるように頑張ります!



収集車を利用した音声案内

当社では安全な地域づくりに貢献するため、ごみ収集に使用する収集車を活用した取組みを行っています。

まず、子供たちの登下校時間帯には子供たちの見守りを呼びかける音声を収集車から再生しています。また、子供たちが安全に生活できるよう、作業員による子供たちへの声掛け運動を、自治体や教育委員会と連携しながら行っています。

加えて、振り込め詐欺など特殊詐欺の被害が多発していることが大きな社会問題となっています。当社が所属する三多摩清掃事業協同組合では東村山警察署からご依頼を受け、振り込め詐欺への注意を促す音声を再生しています。協同組合が一体となって行うことにより、地域内での犯罪抑制にも効果があると考えられます。

当社も地域社会の一員として安心安全な地域を目指し、今後も取組みを継続してまいります。



清掃ボランティア

当社が本社を置く東村山市工業団地は野火止用水や多くの木々に囲まれており、自然環境豊かな地域です。自然環境の保持や、環境美化の一環として、始業前の地域清掃活動を継続して行っています。

活動時には不法投棄防止を目的とした環境パトロールも実施しており、不法投棄が確認された場合は自治体への報告を行っています。



高齢者見守り回収運動

高齢化社会が深刻化する中で、独居老人の孤独死が社会問題になっています。当社の収集地域の1つである東村山市では、人口の3分の1近くが高齢者であるとされています。そのため当社では、高齢者の安全を確保するため「見守り回収運動」を平成22年度から行っています。具体的には週3回の収集訪問を行い、ごみが排出されているかを確認しています。ごみの排出が長期間確認できない場合は自治体へ報告し、自治体職員が訪問しています。地域社会全体で高齢者を見守ることを目的に活動しています。

環境教育

当社では、きよせ幼稚園様で子供たちへ向けた廃棄物に関する環境教育を毎年開催しています。

恒例となったレンジャーショーでは、ごみの分別や出し方についてクイズ形式で子供たちと一緒に考えました。レンジャーショーの後には、当社が使用するごみ収集車を利用し、ごみの積み込み体験を行いました。

生活するうえで必ず排出される廃棄物については、当社の業務内容を知っていただくことで、より理解が深まると感じています。また、子供たちが各ご家庭で学んだことを伝えてもらうことで、廃棄物の分別や排出方法について理解を深めるきっかけになれば、と感じています。



工場見学

当社のエコ工場では東村山市をはじめとした近隣4市の容器包装プラスチックを受け入れており、リサイクルのためプラスチックとその他不純物を手作業で分別しています。実際に当社が扱う廃棄物や作業風景をご確認いただくため、市民の皆様による工場内の見学を受け付けております。2019年度には、団体・個人で10組以上の市民の皆様にご見学いただきました。

ご家庭から排出されている容器包装プラスチックがリサイクルされるまでに、どのような処理をされているのかを実際に確認して頂くことで、リサイクルに関する理解や、分別の意義を感じていただくことができると考えています。



第60期ISOサーベイランス審査

当社はISO14001を取得し、環境マネジメントの継続的改善を図っています。
作業品質の向上、環境関連サービスの普及（＝売上目標達成）による地球環境への貢献を目指しています。

第60期環境目標および実績

環境保全事業部	
第60期目標	第60期実績
・作業品質の向上	ベール検査にて全自治体からAランクを取得
・教育	安全講習、法改正に伴う勉強会等を開催
・危険予知意識の向上	無災害の継続、熱中症への事前対策

環境イノベーション事業部	
第60期目標	第60期実績
・既存案件の継続的受注（死守）と売上の拡大	既存案件の受託
・新規受注に向けて営業活動	他部署の売上貢献
・競争力の強化及び社員の育成・指導強化	有資格社員及び協力会社の拡充
・作業員のスキルアップに向けた資格取得の推進	フルハーネス講習会へ参加
・自社作業と協力会社作業の区別化	自社での対応可能作業範囲を拡大
・売上目標の達成	達成ならず

管理部	
第60期目標	第60期実績
・BCP（事業継続計画）の周知及び浸透	一部訓練について実施できず
・就業規則の見直し	法改正に伴い規則改正を実施
・社内サポートの充実	各課の事務作業等を中心にサポート

過去3年間の第三者審査結果

実施日	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会	よい点（グッドポイント）
2019年9月3、4日（60期） 第10回 サーベイランス審査	なし	2件	18件	9件
2018年9月4日（59期） 第9回 サーベイランス審査	なし	2件	20件	7件
2017年8月3、4日（58期） 第4回 更新審査	なし	1件	29件	6件

環境保全事業部

- ・町田営業所では、教育訓練管理表が適切に運用されている。
- ・エコ工場では、容器包装プラスチックのベール検査で全てAランク評価を受けている。
- ・エコ工場では、3Sに向けた取組みが継続して行われている。

環境イノベーション事業部

- ・PCB廃棄物収集運搬では、関連資料が適切に保管されている。
- ・総合建物管理課では、確実なサービス提出に加え、顧客とのコミュニケーションも確実に実施されている。
- ・総合建物管理課では、事業計画書の策定と毎月の進捗管理を実施している。
- ・営業課では、目標達成に向けた取組を多角的に策定し、実際の活動に展開している。

その他

- ・教育訓練対象者リストでは、対象者が明確に管理されている。
- ・社員の力量認定について、ランク別の登録があり有効な記録となっている。

当社のCO₂排出量

当社ではCO₂排出量削減に向けて、省エネ商材のご提案や太陽光発電システムの導入、CO₂排出量の見える化による現状把握を進めてきました。

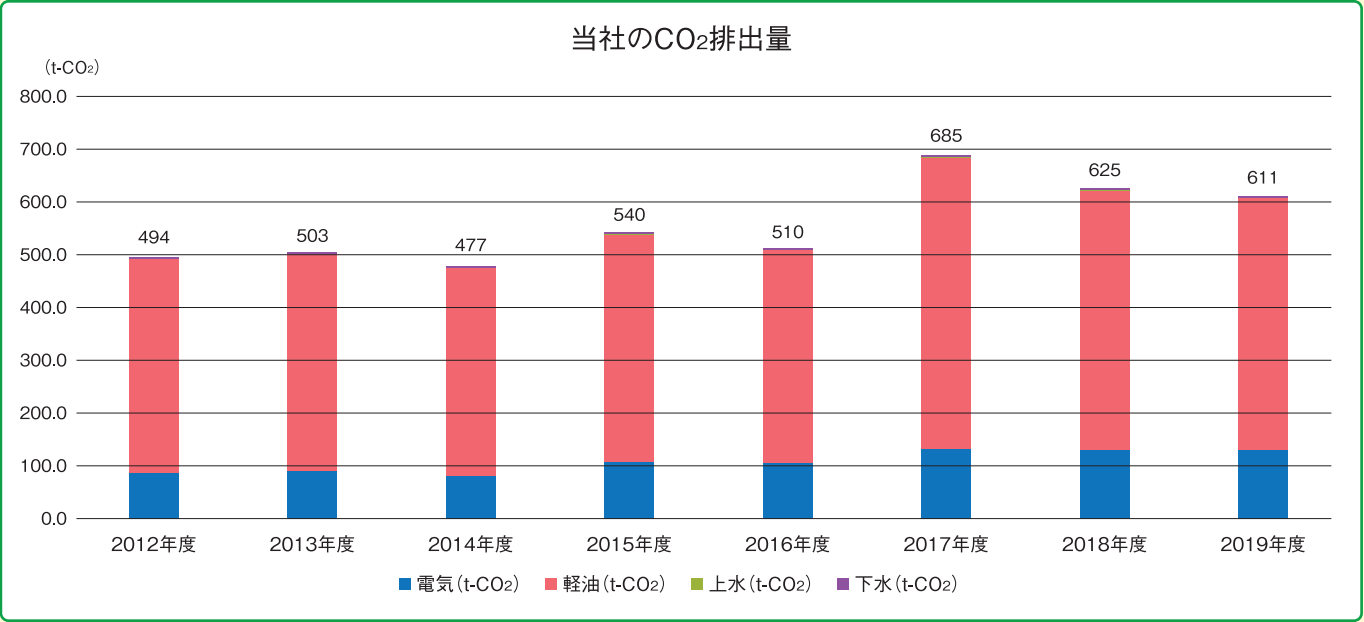
一方、東京都は「ゼロエミッション東京戦略」を発表し、2050年までにCO₂排出実質ゼロという目標を掲げました。

当社も東京都の目標に賛同し、「2050年までにCO₂排出量実質ゼロ」を目指してまいります。

——ゼロエミッション東京戦略とは？——

近年、世界中で深刻化している気候変動を受けて、脱炭素化に向けた動きが国や都市、企業で活発化しています。

東京都では2020年までにCO₂排出実質ゼロを実現するために「ゼロエミッション東京戦略」を2019年5月に策定しました。



※対象拠点：本社、秋津事業所、東大和営業所、町田営業所、赤坂営業所
※対象エネルギー：電気・軽油・水（東京都地球温暖化対策報告書では、電気・ガス・水が対象）
※換算係数：東京都地球温暖化対策報告書制度における係数にて計算

トピックス

●省エネ照明の販売開始から10年を迎えました

当社は2010年からLED照明などの省エネ照明のご提案を行っており、2020年をもって10年を迎えることができました。

これまで多くのお客様に最適な省エネ照明をご提案し、導入いただきました。

現在では高効率空調などの省エネ製品に加え、新電力のご提案やマッスルスーツなど、取扱品目を拡大しています。

これからもお客様にとって最適なお提案を行ってまいります。

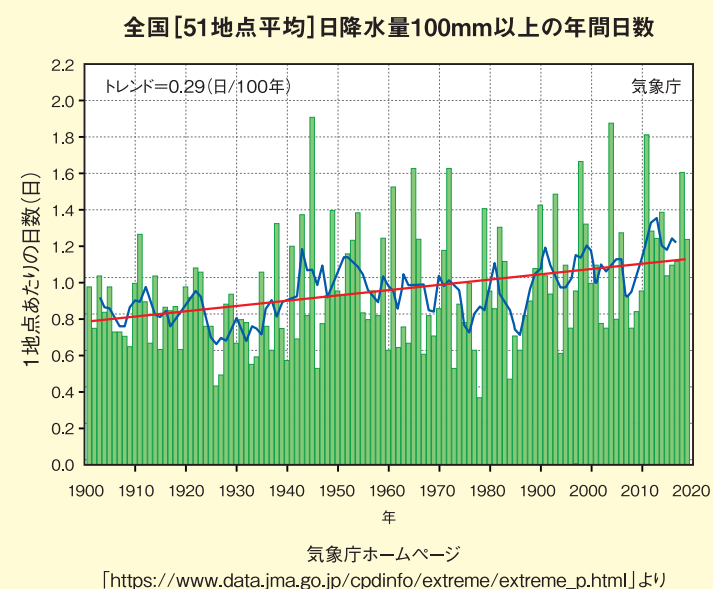
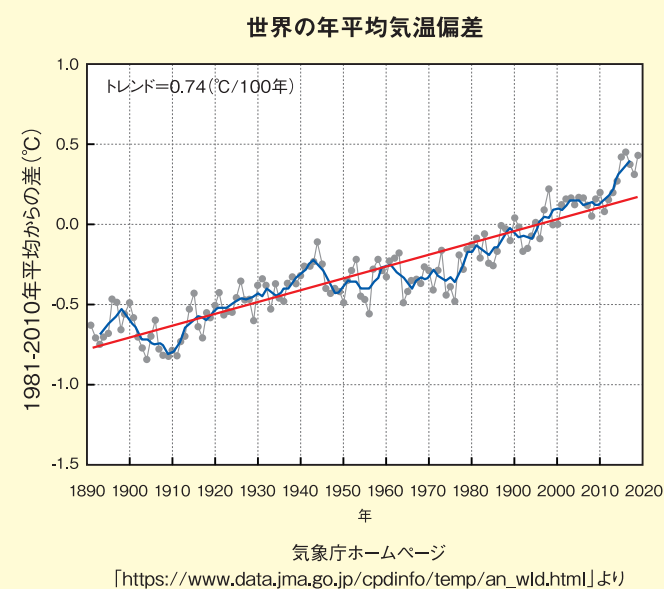


トピックス ～気候変動の影響と当社の取組み～



気候変動の状況

日本に限らず、世界全体で高温や風水害の増加、渇水などこれまでの自然環境では考えにくい変化(気候変動)が生じています。これについて、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、今後も気候変動による被害が拡大すると予測し、早急な対策を呼び掛けています。このような取組みに加えて、国際機関や他国の取組みを受けて、日本や東京都でも気候変動対策に向けた、様々な取組みが行われています。



当社の取組み

当社は「^{あす}未来の地球に持続可能な環境を創る企業」として、様々な環境事業を展開しています。環境事業を行う企業として、また社会の一員として様々な活動を行っています。

① 災害を意識した取組み

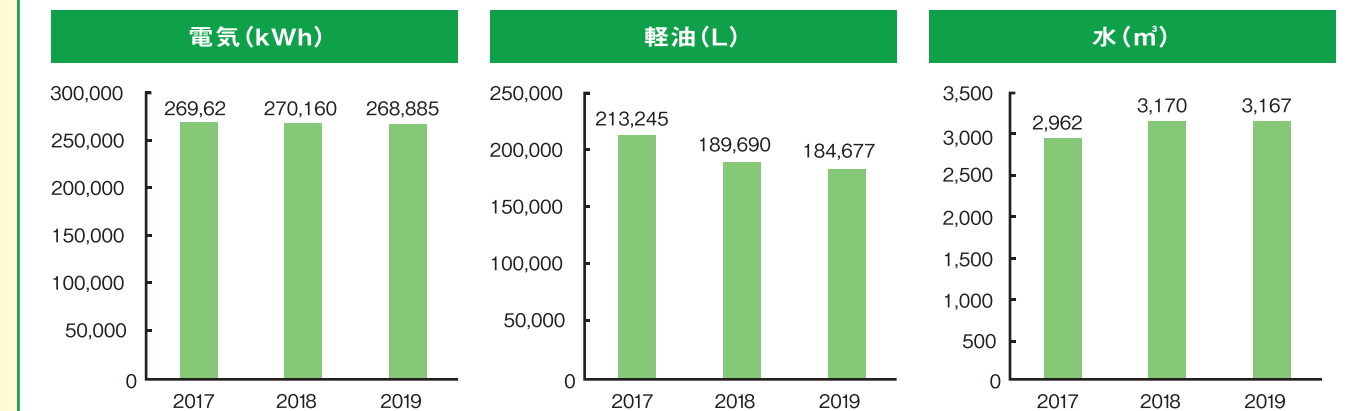
当社の事業の1つである家庭ごみの収集、中間処理は重要な社会インフラとして位置づけられています。社員の安全を確保しつつ、事業継続できるよう、自治体が定めるハザードマップなど災害の被害想定を確認し、「もしも」の時に備えています。また、大雨の際は自治体の発表する被害状況等を確認し、適宜自治体と連携をしています。今後、気候変動による影響が拡大・深刻化する中でも安定した事業活動が行えるよう、さらなる対策を検討していきます。

② エネルギー利用量削減への取組み

気候変動に対しては、気候変動影響の防止・軽減に向けて備えを行う「適応」に加えて、気候変動の原因の一つとされる温室効果ガスの排出削減などを行う「緩和」という、2種類の対策を行うことが重要とされています。当社ではLED照明や高効率空調など省エネ商品を取り扱い、お客様の気候変動「緩和」に向けた取組みをサポートしています。また、当社が排出する温室効果ガス等の削減に向けて、各エネルギーの使用量を継続的に計測しています。今後は計測した結果を分析し、2050年のCO₂排出ゼロに向けた取組みを加速化させていきます。

エネルギーデータ

当社のエネルギー使用は、工場における容器包装プラスチックとペットボトルの圧縮梱包に係る電力と収集運搬車両の燃料である軽油が中心となります。2019年度は、電力、軽油、水のすべてにおいて2018年度から微減となりました。今後もエネルギー使用量低減に向けて活動してまいります。



KATO太陽光レポート

2015年度より稼働を始めた茨城県銚田市2MWのメガソーラーをはじめ、各発電所では順調に発電、売電をしています。



銚田市秋山発電所の航空写真

■ 太陽光発電システム概要

設置場所	茨城県銚田市秋山
定格出力	2MW
売電単価(税抜)	40円

2019年度の発電量
約259万kWh

CO₂削減量
約1,304t-CO₂



筑西市成井発電所

2019年度の発電量
約62,000kWh

CO₂削減量
約31t-CO₂



東村山本社発電所

2019年度の発電量
約24,000kWh

CO₂削減量
約12t-CO₂



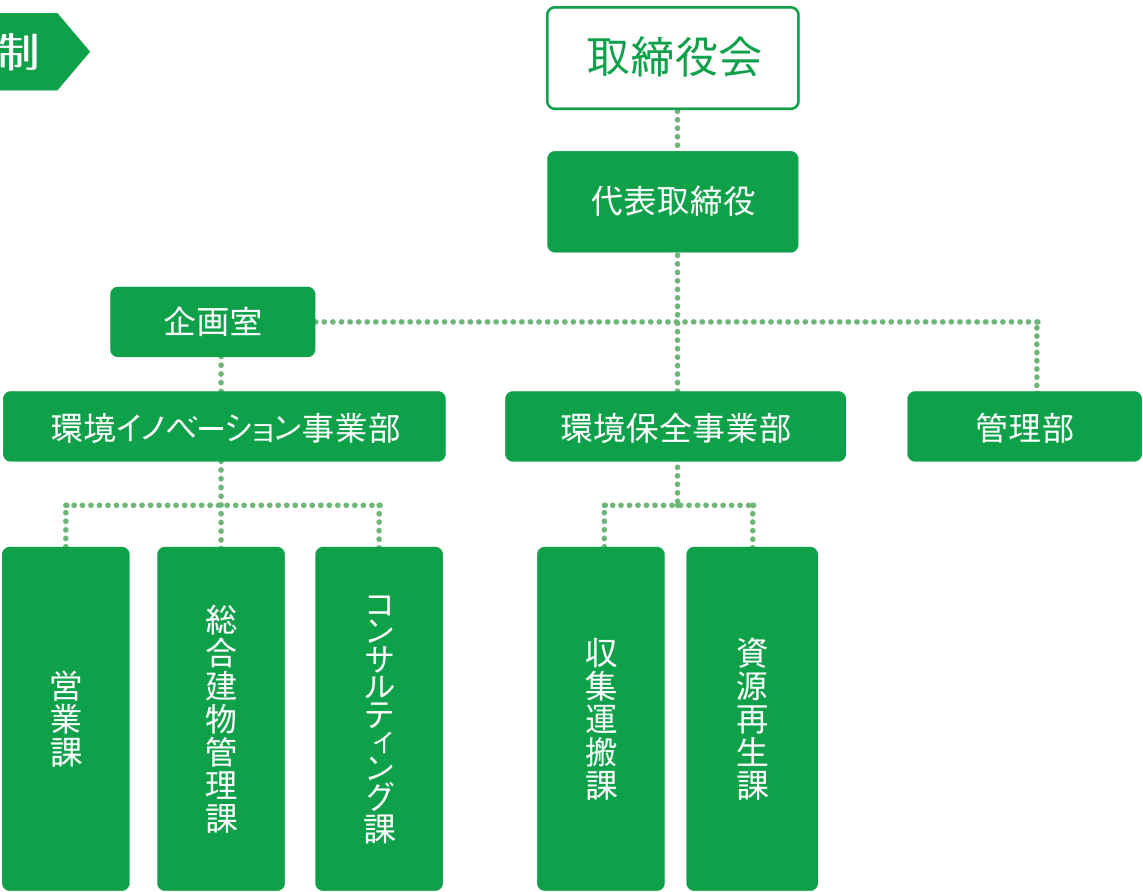
赤坂営業所発電所

2019年度の発電量
約1,900kWh

CO₂削減量
約1t-CO₂

参考URL「太陽光ビジネス『太陽光発電でどれくらいのCO₂を削減できますか?』」<http://taiyo-biz.jp/question/others/co2.php>

体制



法令等順守状況

法律等名称	区分	順守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物	○
浄化槽法	廃棄物	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	廃棄物	○
消防法	防災	○
騒音規制法	騒音	○
振動規制法	振動	○
悪臭防止法	悪臭	○
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)	大気保全	○
電気工事士法	電気	○
労働安全衛生法	安全衛生	○
公共工事標準請負契約約款	品質	○
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	その他	○
酸素欠乏症等防止規則	その他	○
貨物自動車運送事業輸送安全規則	その他	○
道路運送車両法施行規則	その他	○

※ISO「法的及びその他の要求事項一覧表」より抜粋

許可情報

産業廃棄物処分業許可																			
交付自治体	許可番号	認定	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形
東京都	第1320031111号	優良						○											

○:処分業許可有り 空欄:許可無し

産業廃棄物収集運搬業許可																			
交付自治体	許可番号	認定	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形
福島県	第0707031111号	優良	○	○				○			○	○						○	
群馬県	第1000031111号	優良	○	○	○			○		○	○	○	○		○	○	○	○	
埼玉県	第1102031111号	優良	○	○	○			○		○	○		○		○	○	○	○	
千葉県	第1200031111号	優良	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東京都	第1310031111号	優良	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
神奈川県	第1402031111号	優良	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	
山梨県	第1900031111号	優良	○	○				○		○					○	○	○	○	

○:収集・運搬業許可有り(積替え保管無し) ●:収集・運搬業許可無し(積替え保管あり) 空欄:許可無し

特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可																	
交付自治体	許可番号	認定	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	指定下水道汚泥	処理物	廃棄物 感染性産業廃棄物	廃PCB等	汚染物等 PCB	処理物等 PCB	廃石棉等	廃水銀等
茨城県	第00851031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		
栃木県	第00950031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○			
群馬県	第01050031111号	なし	○	○	○		○	○					○	○			
埼玉県	第01150031111号	なし	○	○	○								○	○			
千葉県	第01250031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		
東京都	第1357031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		
神奈川県	第01450031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		

○:収集・運搬業許可有り(積替え保管無し) 空欄:許可無し

財務情報

	59期	60期	61期
売上高	1,460	1,479	1,559
営業利益	81	1	1

(百万円)

社員情報

- ① 平均年齢 男性:40.5歳 女性:38.8歳
- ② 正社員の平均勤続年数 男性: 7.6年 女性: 5.3年
- ③ 障がい者雇用率 3.23%
- ④ 育児・介護制度 ※利用者数 2名
- ⑤ 健康診断受診率 100%
- ⑥ 有給休暇消化率 全社員平均60%(有給休暇消化率:取得日数／付与日数)

※育児、介護等を理由とする休業や労働時間短縮制度